



ASAHI University News Letter

vol.121

May 2019

発行日／隔月1日
編集・発行／朝日大学 総務部

「建学の精神」遵守を誓う



入学生代表の白木友梨さん(法学部)が「建学の精神」遵守を誓う

キャンパス内の桜が開花し新年度を迎えた4月2日(火)、本大学穂積キャンパス10周年記念館大ホールにおいて2019年度朝日大学入学式(春季)が厳粛に挙行されました。

朝日大学と歯科衛生士専門学校との合同入学式では、新入生から新たな気持ちを胸に入学の宣誓が行われました。

厳粛に入学式を挙行

入学式式典では、学部、大学院、留学生別科日本語研修課程、歯科衛生士専門学校の入学生752名が、大友克之学長ならびに磯崎篤則専門学校校長から「入学許可」の宣言を受け、朝日大学での新たなキャンパスライフをスタートさせました。



大友学長による告辞

大友学長から「本大学の建学の精神に立脚し、これから的人生において自分自身が社会にどのように参画していくかをしっかりと考え方、日々研鑽を積み、強い自信と誇りを持って、この学び舎で学んでいただきたい。そして日本の未来の原動力となっていただきたい。入学生の皆さんこそが、朝日大学の未来であり、希望・夢なのです」との告辞がありました。

これに対し、入学生代表者の法学部法学科白木友梨さん（岐阜県立本巣松陽高等学校出身）からは、「建学の精神を遵守し、学業成就に向け努力します」と新たな気持ちを胸に力強い宣誓が行われました。



入学生代表の白木友梨さん（法学部）が
「建学の精神」を誓う

理事長から祝辞

続いて挨拶に立った宮田淳理事長からは、「これから的学生生活では、資格取得やスポーツ活動に取り組むこと、国家試験合格に向けて勉学に励むなど、文武両道の精神でそれぞれの夢や目標に向かって努力してください。朝日大学には、海外研修、インターンシップ、ボランティアなど、みなさんがそれぞれ抱く夢を実現するためのプログラムが用意されています。朝日大学はそのような学生を教職員一同、全力でサポートします」と新入生たちへ激励の言葉（祝辞）が述べされました。



宮田理事長から激励の言葉が述べられる

国際色豊かな式典

今年は、県内外関係機関より次の来賓の方々をお迎えしました。

明海大学 学長	安井 利一 様
アラバマ大学バーミングハム校	ジョージ・ウイリアム・フォード 先生
瑞穂市 市長	棚橋 敏明 様
岐阜県歯科医師会 会長	阿部 義和 様
岐阜県経済同友会 筆頭代表幹事	中村 源次郎 様
岐阜県弁護士会 会長	鈴木 雅雄 様
岐阜県看護協会 会長	石山 光枝 様
岐阜県体育協会 専務理事	柴田 益孝 様
岐阜県歯科衛生士会 会長	藤井 重子 様
岐阜県立岐阜商業高等学校 教頭	石榑 淳 先生

式典には本大学の建学の精神を反映し、海外交流校であるアラバマ大学より教員と学生が参列、英語による祝辞が述べられ国際色豊かな式典となりました。



明海大学学長 安井利一先生



アラバマ大学 ジョージ・ウイリアム・フォード先生

ウエルカムパフォーマンス

また、式典終了後には、一転趣向を変えて在学生が「ウエルカムパフォーマンス」を披露。公式戦用ユニフォームなどに身を包んだ先輩たちから熱いメッセージが送られ、式場の興奮は頂点に達しました。



在学生によるウエルカムパフォーマンス

経営学部同窓会創設30周年記念

1989年3月に創設した経営学部同窓会がこのたび30周年を迎えるました。

同窓会が主催した記念式典が穂積キャンパス6号館大講義室で開催され、はじめに飯島慶一同窓会長から経営学部同窓会のこれまでの歩みの紹介も含めた挨拶がありました。

輝く未来をめざし

引き続き行われた特別講演会では、衆議院議員の野田聖子先生を講師にお招きし、「これからの日本!」をテーマに、日々国会で起きている様々な事案、夫婦別姓、高齢化社会、子育ての在り方などについて講演いただきました。会場に集った地域住民や同窓生約400名は、熱心に野田先生の講演に耳を傾けていました。



野田先生がこれからの日本を語る

その後、会場を学生食堂に移し記念パーティーが盛大に開催され、同窓生たちは、友人や恩師と近況報告や学生時代の思い出話に花を咲かせ、楽しいひと時を過ごしました。



同窓生、恩師、学内関係者による記念写真

OPEN CAMPUS 2019



歯科医師、看護師国家試験結果

「第112回歯科医師国家試験」の合格発表

本大学歯学部の新卒者の歯科医師国家試験合格率は73.7%（合格者70名／受験者95名）という結果でした。合否判定が絶対評価から相対評価へと移行し、合格者総数が大幅に減少する中、今年度第112回は合格者総数2,059名、合格率63.7%の狭き門となりました。

「第108回看護師国家試験」の合格発表

本大学保健医療学部看護学科の新卒者の看護師国家試験合格率は97.4%（合格者74名／受験者76名）で、全国の新卒者合格率93.7%を上回ったものの、100%にはあと一歩及びませんでした。

今後、歯学部と看護学科では教育改革をすすめ、1年生から知識を定着させていく取り組みに着手することとなります。

海外の歯学部学生を受け入れ

歯科教育システムを研修

本大学と学術交流協定を結んでいるテキサス大学サンアントニオ校、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、アラバマ大学バーミングハム校の教員と学生たちが本大学歯学部



医科歯科医療センターを視察
での海外研修のため相次いで来学しました。

学内では、歯学部教員による講義の受講、医科歯科医療センター視察やシミュレーション実習などを通して、日本の歯科教育及び診療システムを紹介しました。

各研修校の中でも、アラバマ大学一行は、日本文化体験として、本大学相撲部の練習を視察。初めて間近で相撲を見る学生も多く、部員たちの迫力ある取組に大歓声が湧きました。

歯学部

6月16日(日)※・7月25日(木)・8月25日(日) 10:00～15:00 ※6月16日のみ13:00～16:00
入試説明、実習体験(7・8月)、模擬授業、個別相談などを開催
歯学部生の一日を体験できます。

法学部

6月16日(日)・7月28日(日)・8月18日(日) 13:00～16:00
模擬授業、入試・奨学金説明、実習体験(保健医療学部)、キャンパス見学などを開催
各学部の在学生や先生と直接話すことができます。

詳細は「朝日大学 受験生サイト」をご確認ください。

経営学部

保健医療学部

名誉教授称号を授与

本年3月退職を迎えた永原國央先生（歯学部教授）、寺島美紀子先生（経営学部教授）の2名に対し、2019年4月1日付けで「朝日大学名誉教授」の称号が授与されました。

このたびの授与は、本大学に多年勤務し、教育・研究上の功績が高く評価されたものです。



朝日大学名誉教授
永原國央先生



朝日大学名誉教授
寺島美紀子先生

私立大学等改革総合支援事業に選定

朝日大学は文部科学省「平成30年度私立大学等改革総合支援事業」に選定されました。

改革総合支援事業は、タイプ1からタイプ5に分かれており、本大学はタイプ1(教育の質的転換)とタイプ5(プラットフォーム形成)の2項目で選定されました。

本年度は、タイプ1「特色ある教育の展開」、タイプ2「特色ある高度な研究の展開」、タイプ3「地域社会への貢献」、タイプ4「社会実装の推進」と内容が変更となります。すべてのタイプでの選定を目指し「魅力ある大学づくり、選ばれる大学づくり」を推進して参りますので、本大学の教育・研究・地域貢献にご理解とご支援をお願いいたします。

岐阜県弁護士会と連携

本大学と学術交流協定を結んでいる岐阜県弁護士会との第11回定例懇談会が開催され、成果報告と本年度共同事業計画について協議しました。

懇談会では、2018年度成果報告として、ジュニア・ロースクール、法教育作文コンクール等の実施状況が報告され、本年度においても引き続きこれらの事業を継続していくと共に、新たな事業や教育研究面での一層の連携協力をはかっていくことが確認されました。また、今回の懇談会では、教育課程の改善に資すること目的とし「法学部及び大学院法学研究科カリキュラム・シラバス」に関する意見交換も実施されました。

県弁護士会との学術交流協定は、岐阜県の法教育推進にかかる事業、判例研究の共同研究事業を積極的に展開していくことで2009年6月に締結されています。



岐阜県弁護士会との定例懇談会

「揺さぶられっこ症候群」を考える

穂積キャンパス5号館講義室で、岐阜県弁護士会と龍谷大学犯罪学研究センター、中部弁護士連合会、日本弁護士連合会が主催する「揺さぶられっこ症候群(SBS)～わかっていること、わかっていないこと～」、「虐待による頭部外傷(AHT)」について考えるシンポジウムが開催されました。



揺さぶられっこ症候群をテーマにパネルディスカッション

シンポジウムは、国内外の医師、研究者などの専門家らによる揺さぶられっこ症候群をめぐる最新の議論状況、その問題点や今後の論点などについての講演とパネルディスカッションが行われました。

県内医療関係者をはじめ本大学教職員、看護学科学生、法学部学生ら約120名の参加者が、熱心に講演とシンポジウムに耳を傾けていました。

瑞穂市教育情報化支援プロジェクトの推進

教職課程センターは、瑞穂市との包括連携協定に基づく事業として、2017年度から瑞穂市教育情報化支援プロジェクトを推進しています。

本年1月から3月には穂積小学校5年生を対象に、瑞穂市公式キャラクターの「かきりん」を教材にしたプログラミング教育の実験授業を実施しました。子どもたちは画面上のブロックを操作することで「かきりん」に命令を与え、論理的に考えながら思い通りの動きを実現させるという内容です。



小学生がプログラミングを体験

2019年度は、小学校6年間全体の見通しや中学校における情報教育との接続を考慮したカリキュラムの設計と開発に取り組む予定です。

「医療と健康」をテーマに公開講座

美濃加茂市生涯学習センターで「医療と健康」をテーマにかかげた「第10回朝日大学公開講座」が木沢記念病院との共催で開催され、地域住民ら約200名が熱心に受講しました。

同公開講座は、歯科医学・スポーツ・看護学の分野で高度な教育研究及び人材育成を行う朝日大学と、高度・先進技術で中濃地区の医療を牽引する木沢記念病院とが有する専門性を融合させ、地域住民の健康増進と生涯教育の振興をはかることを目的とし毎年開催されています。

公開講座プログラム

「ここまで進んだがんゲノム医療の実際」

木沢記念病院副院長 石原 哲 先生

「高齢社会とインプラント治療」

朝日大学医科歯科医療センター長 永原 國央 先生

「おいしく食べていいき人生—健康づくりは健口から」

朝日大学歯科衛生士専門学校副校長 山田 小枝子 先生



木沢記念病院の石原先生ががんゲノム医療を解説

岐阜県北方警察署と連携協議会を開催

岐阜県北方署と朝日大学は、警察と大学による官学連携により安全・安心な地域づくりへの貢献と、その担い手となる人材の育成に寄与することを目的に「岐阜県北方警察署と朝日大学との連携協力に関する協定」を2015年に締結しています。



このたび協定に基づく第5回の連携協議会が開催され、2018年度連携協力の実施状況や、北方署員による学生への厚生補導関係講演の実施状況などが報告され、活発な協議が行われました。

産学連携短期海外研修

経営学部では産学連携短期海外研修を、セイノーグループ企業様、大垣共立銀行様、ならびに現地スタッフの支援をいただきタイ(バンコク、シラチャ)で実施しました。

本研修プログラムは、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人間的知性に富む人間を育成するという本大学の「建学の精神」に基づき、学生の国際理解、異文化理解、海外経済・社会認識の向上を図ることを目的として毎年実施されています。

参加した学生にとっては、タイ国内で、日系企業がどのような活動を展開し、どのように現地の人々との関係を構築しているのかを、実際に見て聞く貴重な機会となりました。



大垣共立銀行バンコク事務所で海外金融ネットワークを学ぶ



セイノーサハロジスティクスで海外物流を学ぶ

体験学習を実施

本大学穂積キャンパスに山県高等学校の1年生の生徒が来学しました。

同校の訪問は、高等学校における「体験学習」の授業の一環として「卒業後の進路選択」の参考となるよう大学、短大、専門学校等を訪問しているものです。

大学生を体験

生徒たちは、「みなさんは大人?それとも子ども?~色々な視点から考える成人年齢」(法学部)、「岐阜を好きになる心理学」(経営学部)の模擬授業の受講、AGO、図書館、模擬法廷などのキャンパス見学を行いました。



経営学部の畠地真太郎教授が「ふるさとへの想い」を解説

模擬授業では教員からの質問に積極的に手を挙げる生徒もあり、「1日大学生」を通じて進路について考えるきっかけを朝日大学で体験していました。

新入学外研修を実施

寝食を共に研修

歯学部では、都ホテル岐阜・長良川において1泊2日の宿泊研修を行いました。新入生たちは大学における講義や小テストを体验し、今後の学修方法を学ぶとともに、グループ討論などを通じて新しい友達や教員との交流を深めました。

大学生としての自覚を認識

法学科・経営学科・健康スポーツ学科では、「大学の歴史や大学で学ぶ意義」を学ぶ授業科目「建学の精神と社会生活」のフィールドワークとして徳山ダムや長良川河口堰などを訪問。また看護学科では、内藤記念くすり博物館や長良川うかいミュージアムを見学しました。それぞれ、岐阜の地域性や様々な歴史を学び、岐阜の伝統文化に触れるとともに、新しい友達や教員との交流を深めました。

教員らは、見学や散策を通じ親睦を深めながら、大学生としての自覚をもつことの大切さや自己のキャリア形成のあり方などについて説明し、新入生たちの大学生活に対する不安感を取り除いていました。



長良川河口堰で岐阜の地域性を学ぶ

「フロンティアセミナー」開講

本大学穂積キャンパス1号館講義室で、瑞穂市とその周辺地域にある大垣共立銀行5支店が主催する「第36回フロンティアセミナー」が本大学協賛のもと開催され、瑞穂市、岐阜市、本巣市などの市民ら約60名が、教職課程センター長服部哲明教授の講演を受講しました。

本セミナーは、大垣共立銀行が進める地域活性化事業の一環として実施されている催事で、本大学では同セミナーに対し「大学の知的財産」を地域社会の皆様に還元できればと、第1回目の開催から協賛しています。

人づくりに関わって

今回のセミナーで服部先生から、「人づくりに関わって～若者からエネルギーをもらう～」と題し、自身の教員としての体験談を基に「現状に満足せず、新しいことを考えることが大切である」と語られました。

フロンティアセミナーは、今後も半年に一度本大学を会場として開催される予定です。



服部先生が「人づくり」を語る

White Coat Ceremony 2019

歯学部登院式を挙行

歯学部5年生の登院式(白衣授与式)が、保護者も列席され、穂積キャンパス6号館大講義室で盛大に行われました。この登院式は、5年生が本大学の病院実習で参加型臨床実習を始めるにあたり、本格的な実習教育への第一歩を踏み出す節目として毎年この時期に実施されています。

登院式では、はじめに全員で学歌を斉唱。江尻貞一歯学部長からの告辞に続き、代表学生に白衣が授与されると、学生たちは白衣を身にまとい歯科医師を志す気持ちを新たにしていました。



登院式での記念撮影

医療人としての決意表明

全員が白衣を身につけた後、学生代表の坂夏佳さんから「社会的責任と医療人としての自覚を持ち、真摯に実習に取り組みます」との決意表明があり、倉知正和副学長、田村康夫副学長及び藤原周医科歯科医療センター長から学生に対して激励の言葉が述べられると、学生たちは真剣な面持ちで耳を傾け、いよいよ始まる臨床実習への自覚と期待を胸に登院式を終えました。

難病図書フェア開催

穂積キャンパス図書館本館2階で、「難病図書フェア」が開催されました。このフェアは、2月最終日の「世界希少・難治性疾患の日(RDD: Rare Disease Day)」に関連して、難病への理解を深める目的で行われています。



難病への理解が深まりました

本大学は、このフェアに参加して3年目、昨年同様に同じくフェアを開催した瑞穂市図書館とのお互いの展示内容を紹介するコラボ展示も実施しました。NHKの番組で紹介されたレバー小体型認知症患者の闘病記『私の脳で起こったこと』樋口直美著などを展示し、学生の難病に対する理解を深める機会を提供しました。

SPORTS

フェンシング ワールドカップ銅メダル獲得!



銅メダル獲得で笑顔の辻選手

体育会フェンシング部の辻すみれ選手(法2年)が、カイロ(エジプト)で開催されたワールドカップ(女子フルーレ)において、みごと銅メダルに輝きました。

辻選手は、決勝トーナメントでリオデジャネイロオリンピック銅メダリストの選手に勝利するなどして準決勝に進出。準決勝では、同オリンピック金メダリストのロシア選手と対戦し10-15で敗退するも、並いる強敵を破っての堂々3位入賞を果たしました。

辻選手自身にとって、年齢制限のないワールドカップでの初の表彰台は、大きな自信につながったようです。



ワールドカップのメダリストたち

硬式野球 全面人工芝にリニューアル

穂積キャンパス総合グラウンド内に設置されている第1球技場(野球場)が、人工芝にリニューアルされ、完成披露式典ならびに記念試合が開催されました。

これまでの外野のみの人工芝グラウンドから、内野部分を明治神宮球場で採用実績のある人工芝に張替え、全面人工芝グラウンドに生まれ変わりました。

披露式典では、棚橋敏明瑞穂市長をはじめ、多くの来賓や野球関係者の皆様に参加いただきましたと共に、記念試合では、西濃運輸硬式野球部と本大学硬式野球部とが対戦、社会人プレイヤーとの迫力あるプレーが繰り広げられました。



始球式で大友学長がバッターボックスに



完成披露記念式典で記念写真

将来のリーダーを育成

本大学春の恒例行事である「リーダーズキャンプ」が羽島市のかんぽの宿で1泊2日の日程で開催され、学生教職員約70名が参加しました。

リーダーズキャンプは、各種団体(学友会、体育会、大学祭実行委員会、学友会中央協議会)の学生代表が集い宿泊形式で行われており、リーダーシップの育成、クラブ・同好会活動の活性化、参加者相互の親睦を深めること目的としています。

両日共に分割みのタイムスケジュールの中で、自己紹介、グループ討議、フリーディスカッション等のセッションを次々とこなした学生たちは、短期間の間に将来のリーダーとしての素養を身につけた様子でした。



レクリエーションでチームワークを高める

心肺蘇生法を学ぶ



心肺蘇生法を学ぶ

また、今回のリーダーズキャンプでは、瑞穂消防署の協力を得て「救命救急講習会」も開催されました。参加者たちは応急手当の基礎知識、AEDを利用した心肺蘇生法などを熱心に学びました。

参加学生たちのキャンパス内外での活躍が期待されます。

大学スポーツ協会に加入

全米大学体育協会(NCAA)を参考とし、「一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)」が今春発足し、朝日大学は設立メンバーとして加入することが決まりました。

発足時には約200大学と31競技団体が加盟する「大学スポーツ協会」は、大学部活動の事故防止に向けたガイドラインの策定、パワーハラスマントや暴力事案に対する相談窓口を設置、公式サイトでの600試合の映像配信、対外試合に出場できる学業成績の基準策定などに積極的に取り組んでいくこととなります。

設立時の主な大学、競技団体 (順不同)

朝日大学・明海大学・大阪大学・近畿大学・順天堂大学

中央大学・中京大学・帝京大学・東洋大学・東海大学

日本体育大学・広島大学・北海道大学・名城大学

立命館大学・福岡大学・全日本大学野球連盟

日本ラグビーフットボール協会・全日本学生テニス連盟

全日本学生ハンドボール連盟・日本学生ホッケー連盟ほか

NEWS



法教育作文コンクール

「第8回法教育作文コンクール」(主催:朝日大学、岐阜法教育研究会)の表彰式が、穂積キャンパス5号館講義室において行われました。

小・中・高校生を対象とする同コンクールには129件の応募があり、厳正な審査の結果、8作品がそれぞれ賞を受賞しました。最優秀作品として岐阜県教育委員会賞並びに岐阜県弁護士会長賞に選ばれた受賞者2名は、法教育に対する自分たちの思いや体験をつづった作文を朗読披露し、受賞者のインタビューでは、「今回の作文応募をきっかけに、ルールの大切さを学べてよかったです」との声が聞かれました。



「法教育教材コンクール」の受賞者

コンクール受賞者（新聞社は50音順）

岐阜県教育委員会賞	白木 伶奈 (組合立養基小学校3年)
岐阜県弁護士会長賞	藤根 彩衣 (鶴谷中学校3年)
NHK岐阜放送局賞	長谷川 陽人 (中津川市立西小学校2年)
岐阜新聞・岐阜放送賞	柳瀬 梢 (鶴谷中学校3年)
朝日新聞社賞	岡田 智咲 (岐阜県立海津明誠高等学校3年)
中日新聞社賞	山本 怜奈 (岐阜県立海津明誠高等学校3年)
毎日新聞社賞	松永 詩織 (鶴谷中学校3年)
読売新聞社賞	小川 さくら (岐阜聖徳学園大学附属小学校5年)

栄えある「宮田賞」受賞



宮田賞(クリスタルトロフィー)を授与される受賞者

2018年度卒業式(穂積キャンパス10周年記念館大ホール)で、「宮田賞」の授与が行われました。

本大学の創立者である宮田慶三郎の素志により制定された「宮田賞」は、在学中の学業成績が特に優れた者や課外活動に貢献し、本大学の名誉を高揚させた者を対象に表彰するものであり、受賞者(7名)には「表彰状」と「クリスタルトロフィー」が宮田淳理事長から贈呈されました。受賞者たちの今後の活躍が大いに期待されます。

宮田賞受賞者

法学部	法学科	砂川 雄大／奥村 知咲
経営学部	経営学科	山田 隼也
保健医療学部	ビジネス企画学科	大西 梨紗子／入江 菜々美
歯学部	看護学科	北澤 優奈
	歯学科	林 大樹

また、「宮田賞」授与に先立ち行われた学長告辞では、大友克之学長から朝日大学を旅立つ卒業生たちへのなむけの言葉として「建学の精神」が贈られ、姉妹校である明海大学安井利一学長から祝辞をいただきました。

式典終了時には参列者全員が拍手で卒業生たちを見送り、厳粛であった会場内がたちまちに暖かい雰囲気に包まれました。

今年は、県内外関係機関より次の来賓の方々をお迎えしました。

明海大学 学長	安井 利一 様
瑞穂市 市長	棚橋 敏明 様
岐阜県歯科医師会 会長	阿部 義和 様
岐阜県経済同友会 専務理事	武藤 国策 様
岐阜県弁護士会 会長	鈴木 雅雄 様
岐阜県看護協会 副会長	小谷 美重子 様
岐阜県体育協会 会長	小野木 孝二 様
岐阜県商工会議所連合会 専務理事	山田 英治 様
岐阜県歯科衛生士会 会長	藤井 重子 様
岐阜県立岐阜商業高等学校 校長	古田 憲司 先生
関市立関商工高等学校 副校長	谷口 正明 先生
清林館高等学校 教諭	森 一将 先生
鶴谷中学・高等学校 校長	小邑 政明 先生
岐阜県立岐阜本巣特別支援学校 校長	水野 慎治 先生
岐阜県立岐阜本巣特別支援学校 教諭	森 克己 先生
岐阜県立大垣商業高等学校 校長	山田 雄治 先生